

特集インタビュー

なくなった手指の再建を目指す!

Apricot
Communications

マイクロサージャリーの 3つの意義



手や足の組織・機能回復は、
患者さんの精神的ショックの回復にもつながります。

一宮西病院 整形外科部長 兼 四肢外傷センター センター長 中西 昭登

なくなった手指の再建を目指す!

マイクロ サージャリーの 3つの意義

一宮西病院 整形外科部長 兼 四肢外傷センター センター長 中西 昭登



整形外科の領域は、肩、腰、膝、関節…など多岐に渡っています。そのひとつに「手外科」という専門領域があるのはご存知でしょうか? 肘から手、指にかけての怪我や疾患を専門に診療する、一宮西病院・四肢外傷センターの中西医師にお話を伺いました。

一宮西病院 整形外科部長 兼 四肢外傷センター センター長
中西 昭登(なかにし あきと)

【主な資格】日本整形外科学会 整形外科専門医、
日本手外科学会 手外科専門医、医学博士

1 手外科とは? マイクロサージャリーとは?

整形外科の専門領域の1つ「手外科」とは何ですか?

「手外科」とは、手や肘における疾患・障害を診る専門の診療科です。手外科で扱う症状は多岐に渡り、例えば手の麻痺や痺れなど慢性的な手の病気(手根管症候群、肘部管症候群、ばね指、母指CM関節症など)があります。さらに、切断された指や組織の再接着、手・肘の骨折や脱臼の治療、腱や靭帯断裂の治療、外傷や腫瘍切除などで欠損した組織の修復・再建なども行います。中でも私が専門的に行っているのが、切断された指の再接着です。

指の再接着というと、かなり特殊な分野ですね?

切断された指の再接着の場合、当院では単に指を繋げるだけではなく、「機能と整容の再建」、すなわち「指を動かせるようにすること」と「見た目も再現すること」を目指します。専用の顕微鏡を使って、0.5mmから3mm程度の神経や血管を扱う、極めて繊細な手術となります。このような手術を「マイクロサージャリー」といいます。日本手外科学会ホームページによると、手外科の専門医資格を持った医師は愛知県で50名ほどいますが、マイクロ

サージャリーによる機能回復までを見据えた指・組織の再接着となると、手外科領域でもかなり特殊な専門分野といえるのではないのでしょうか。当院では、24時間の受け入れ体制も整っています。(隔週の金・土・日除く)

微細な血管や神経まで扱い、組織・機能までを再建する手術がマイクロサージャリーということですね?

そうです。指ひとつとっても、動脈・静脈・神経・腱・骨など、色々な組織を複合的に一つ一つ丁寧に治していくという手術になります。また手外科といいながらも、マイクロサージャリーの領域では「四肢の組織欠損」が対象になります。ですが重ねて申しているように、形だけ回復すればよいというわけではなく、機能的に回復する必要があると考えています。切断された四肢を繋げたことで、逆に日常生活に支障をきたす場合もあります。患者さんのライフスタイルに合わせ、どこまでの機能回復を目指すのか、これはとても大切なことです。その患者さんの怪我の状態から将来的な機能を見込み、形だけでなくなるべく機能回復を見据えて治療していくこと、そこを重視すれば患者さんのQOL(=生活の質)はより回復・向上していくのではないのでしょうか。

2 ここまでできる! マイクロサージャリー

「切断」ではなく、例えば潰れてしまった組織、無くなってしまった組織も再建は可能ですか？

切断した手の指が見つからない場合でも、足の指を用いて手の指を再建することが可能です。「足趾(そくし)移植術」といって、足の指を利用して手の指に移植させるのです。マイクロサージャリーの技術であれば、このように他の部位から採取した組織を、血管・神経を縫合して移植する“複合組織移植”が可能なのです。また神経や血管などを扱うのがマイクロサージャリーなので、感覚も同時に回復させることができます。このように、切断した指がなくなった場合でも、現在は本来の指に近い状態での再建も可能となってきました。



「足趾移植術」術後の写真。
足の親指の一部を、欠損した「手の指」として再生。

足趾移植術だと、足の親指はなくなってしまいますよね？

足の親指を全て移植するわけではなく、「部分足趾移植術」といって、足の親指の半分を移植に用います。日常生活での支障はかなり小さいといわれています。逆に手の指を欠損したままのほうが、精神的な意味での社会復帰は困難かもしれません。手の指が欠損してしまうと、例えばポケットに手を入れたままの生活になったり、そもそも人前に出ようとしなくなるなど、精神的なインパクトにより社会との距離が生まれてしまいます。ですから手の指を再建することは、そういう患者さんの社会生活にとっても非常に有意義なのです。

3 組織の機能再建で、精神的回復もめざす!

再建によって得られる患者さんの満足度は高いのでしょうか？

仕事上の怪我や交通事故などで、手や足に大きな外傷を負ったという方は多くいらっしゃると思います。過去には腱や骨を含めた手の組織が全くなってしまう患者さんもいらっしゃいましたが、再建手術によって手の機能を回復できた時は非常に喜んでもらえました。先ほどお話をさせていただいた、手の指を欠損した患者さんに対する足趾移植術でも、機能回復は勿論ですが、やはり体の一部分が欠損したままの精神的衝撃の解消にも寄与できたと思います。

*中西医師はこの研究を英字論文、WSRM2019で発表しています。
詳しくは一宮西病院のHPをご覧ください。

何年も前に欠損した場合でも、機能再建はできるのでしょうか？

そういう患者さんもいらっしゃいます。怪我などで組織の一部が欠損した状態で、ある程度時間が経った患者さんでも再建手術は可能です。指が欠損したまま数年経過しているような方にも、マイクロサージャリーによる組織再建の治療があるということを、ぜひ知ってほしいです。機能だけでなく、その人の精神的なショックも回復させてくれるのが、マイクロサージャリーだと考えています。



指を欠損したまま時間を経たこのような状態でも、「機能回復を見越した指の再建」を目指すのがマイクロサージャリー。

Message

数としては多くはありませんが、欠損した手指の再建や外傷によって生じた組織欠損、骨髄炎によって生じた骨欠損など、無くなったものに対する再建手術を可能にするのがマイクロサージャリーです。マイクロサージャリーができる医療機関、更にいえば機能回復までを目指したマイクロサージャリーが提供できる医療機関はまだ多いとはいええないかも知れませんが、こういう特殊な技術・手術があるということは、万が一の時のためにぜひ覚えておいてください。

外来では主に、腱鞘炎、手根管症候群、手の麻痺、物がつまめない、使いにくくなったなどの症状、いわゆる「慢性疾患を中心とした手外科」への対応をしています。このような、生活に必要な手の機能の回復を目指すことが、手外科としての役割だと考えています。手の疾患でお困りの方は、外来でぜひご相談ください。

2023年(竣工予定)

一宮西病院 新館B棟 始動!

一宮西病院は現所在地の南側敷地に、現在の建物と同規模の新館B棟を増築します(2023年竣工予定)。完成後の一宮西病院の総敷地面積・延べ床面積はともに約2倍、ベッド数は約1.6倍(497床→801床)となり、医療法人としては県下最大規模の病院になります。予防から救急・急性期、リハビリテーション、在宅復帰支援まで、「垣根のない医療」を提供できるようになり、これまで以上に地域医療へ貢献します。



▲一宮西病院・新館B棟完成イメージ。屋上ヘリポートでドクターヘリの着陸も可能。



▲イメージ内、左の建物が増築部分。



▲上空通路で既存建物とB棟を接続。

ためらわず! すぐに!

救急車を呼んだ方がよい症状

以下の症状がでたら、すぐに治療を受けないと生命にかかわったり後遺症が残ったりする可能性があります

- ① 胸の激痛、強い締めつけ感
- ② 背中 of 激しい痛み
- ③ 突然(もしくは目が覚めたら)
 - 激しい頭痛がする(未体験の激痛)
 - 手や足が動かしにくくなる
 - 言葉がしゃべりづらくなる
 - 歩きづらくなる



CBCラジオ「健康のつぼ」絶賛放送中!!

CBCラジオにて「健康の啓発」を目的としたコーナー「健康のつぼ」(午前ワイド番組「つぼいノリオの聞けば聞くほど」内)を放送しています。当院のドクターとつぼいノリオ氏と小高アナが「気になる病気について」トークを繰り広げます。



次世代の低侵襲治療を実現! 手術支援型ロボット



ダ・ヴィンチXi 始動!!

最新の第4世代モデル 次世代の低侵襲治療を実現

手術支援型ロボット「ダ・ヴィンチ」とは、術者が遠隔でロボットアームをコントロールし、腹部や胸部などの手術部位へ多角的に且つ容易にアプローチすることができる、次世代型の低侵襲治療機器です。一宮西病院は、従来型よりも操作性・機能が向上したダ・ヴィンチのフラッグシップモデル「ダ・ヴィンチXi」を、2021年より導入しました。泌尿器科領域、婦人科領域、消化器外科領域、呼吸器外科領域で稼働していきます。ダ・ヴィンチの導入により、一宮西病院での低侵襲手術の選択の幅が広がります。

一宮西病院 基本方針

24時間365日、いつでも
どんな怪我や病気も断らない

最新の設備と
高度な医療技術の提供

患者さま中心の
きめ細かい医療サービスの実践

一宮西病院

TEL0586-48-0077(代)

〒494-0001 愛知県一宮市開明字平1番地
(休診日/日曜・祝日・年末年始)

診療時間	月～金曜日	(午前) 9:00～12:00 (午後) 一部の診療科では午後診を行っております。詳しくはホームページをご確認ください。
	土曜日	(午前) 9:00～12:00

※救急の場合は随時受付応需いたします。※診療科により異なりますので、詳しくはホームページをご確認ください。

ここからも随時情報を発信中!!



ホームページ
はこちら



Facebook
はこちら



YouTube
はこちら